

## 認定コーチ規程

(2023.02.18改訂施行)

### 第1条 (趣旨)

2013年2月に公益社団法人日本ライフル射撃協会（以下日ラ）の選手強化本部は、メダルポテンシャルアスリート部会（現ジュニア育成委員会）を発足させ、一貫した選手強化システムを構築した。システムを機能させるには、指導者の育成が不可欠と考え、2014年に「NRA J認定コーチ制度」を立ち上げ、指導者の育成とともにジュニアの発掘と強化を進めてきた。

近年、選手、指導者の不祥事が相次ぎ、競技団体は単に選手の競技力向上の指導だけでなく、選手や指導者の人間力向上の役割も求められるようになった。

本制度の改定は、選手、指導者の人間力向上を目的にインテグリティ教育を導入するものである。これにより銃砲を扱う競技団体として、他の範となるべき高いインテグリティを有する団体を目指す。

### 第2条 (目的)

本制度は、次の事項の達成をはかることを目的とする。

人間力と競技力を兼ね備えたライフル射撃選手を発掘育成できる指導者を養成するためのシステムを構築し、ライフル射撃スポーツの普及と発展に資する。

### 第3条 (認定コーチの職責)

- (1) 法令を遵守することはもとより、日ラのインテグリティ教育プログラムに基づき、対象選手を指導し、スポーツマンとしての健全な精神を宿した人間力ある選手に育成する。
- (2) 専任コーチングディレクターの指導理念、指導方法に基づき対象選手を指導し競技力の向上に努める。
- (3) 身につけたライフル射撃指導の知識を活かし、タレント発掘及び育成を行う。
- (4) 日ラの強化学業（国内外の合宿及び競技会派遣）、発掘普及事業（普及助成対象事業及びハブ事業）の指導者（団長を除く総務系帯同者も含む）は認定コーチより選任されなければならない。

### 第4条 (JRSF認定コーチにおける共通要件)

各級の認定コーチにおける共通要件は以下の通り。

- (1) 日ラ会員であること。
- (2) 日ラ加盟団体の推薦を受けた者。

第5条（JRSF認定コーチの分類及び各級の要件等）

	D級	C級	B級	A級
年齢（4月1日時点）	18歳	20歳	22歳	22歳
経験要件	無し	競技歴2年以上 又はD級コーチとしての指導歴2年以上	① 競技歴2年以上 ② C級コーチとしての指導歴2年以上(*1) ③ JSPO公認コーチ3以上の資格保有者	B級コーチとして高い指導実績あり
資格取得講習				
集合講習	1日 (オンライン)	3日又は4日 (オンライン) (*2)	JSPO公認コーチ3養成講習会（専門科目及び共通科目）(*3)	1日（予定）
eラーニング	無し	事前学習、事後学習		全動画を視聴修了
資格更新講習				
集合講習	資格更新時（3年度に1回）に指導者育成部会が開催する認定コーチ向けインテグリティ講習を受講、指導実績報告		JSPO公認更新研修会修了講	更新講習の頻度は現時点で未定
eラーニング	必須動画視聴			
備考		(*4)	国体監督の必須条件 (2023年4月1日より適用)	(*5) ライフルコーチ・ピストルコーチに分類 (両方のコーチ資格を取得可)

(\*1) 第9条（移行措置）(3)記載の通り、2019年以前にJSPO公認ライフル射撃コーチ3以上の資格を取得した場合は、コーチ3としての指導歴を含む

(\*2) JSPO公認ライフル射撃コーチ3養成講習会（専門科目）を兼ねて開催する。

(\*3) JRSF認定C級コーチ資格保有者がJSPO公認コーチ3資格を取得する場合は、専門科目の受講は不要となり、共通科目Ⅲを受講修了することによりJSPO公認コーチ3資格を取得出来る。またC級コーチとしての指導歴が2年以上あれば所属団体の推薦によりJRSF認定B級コーチ資格を取得出来る。

- (\*4) 競技力又は指導力において特に優れた会員については、加盟団体からの推薦により指導者育成部会の審査を経て、日ラインテグリティ教育プログラム以外の資格取得講習会の受講を免除する。（例：オリンピック、職業指導者、高い指導実績を有する者）
- (\*5) B級コーチの中から、高い指導実績を有している者を、所属団体又は指導者育成部会が選定の上、指導者育成部会が開催するA級コーチ向け集合研修を受講修了した後に、理事会の承認を得て認定する。

#### 第6条（資格の登録）

認定コーチは各資格等級に従い認定コーチ証を交付するとともに、協会本部に登録される。

#### 第7条（資格の有効期間）

資格有効期間は各資格等級いずれも資格取得年度の翌々年度末とする。

#### 第8条（資格の停止）

以下の条件のいずれかに該当する場合、資格を停止する。

- (1) 日ラ会員で無くなった者。
- (2) 日ラ指導方針に反した者。
- (3) 倫理規定に違反した者。
- (4) 更新講習を受講（修了）しなかった者。
- (5) 更新費用を納入しなかった者

#### 第9条（移行措置）

旧制度におけるNRA J認定コーチ及びJ S P O公認コーチから新制度への等級について以下の通り移行する。

- (1) 旧C級コーチは、直ちに新C級コーチに移行し、公認期限は2023年度末とする。
- (2) 旧B級コーチは、直ちに新B級コーチに移行し、公認期限は2023年度末とする。

J S P O公認スポーツ指導者制度における公認コーチ以上の資格を取得していない場合は、可及的速やかにJ S P O公認スポーツ指導者制度におけるコーチ3以上の資格を取得するものとする。

- (3) 2019年以前にJ S P O公認スポーツ指導者制度における公認ライフル射撃コーチ3以上の資格を取得した日ラ会員は、以下により、B級コーチ資格を取得できる。

①加盟団体からの推薦

②指導者育成部会が開催するコーチ向けインテグリティ講習会修了

但し、J S P O公認ライフル射撃コーチ3以上の資格取得後、指導実績が2年未満の場合は2年経過後にB級に認定する。（希望により、一旦C級に認定後、指導実績2年経過後にB級に認定することも可能）

#### 第10条（選手に対するインテグリティ教育の実施）

本制度の趣旨は選手、指導者の人間力向上を目的にインテグリティ教育を導入することである。指導者を通して選手に対し間接的なインテグリティ教育を行なうだけでなく、指導者のいない選手に対してインテグリティ教育を担保するため、選手に対してもインテグリティ教育を実施する。

認定コーチは日ラ会員に対して、有効期限内にインテグリティ講習を実施し受講できるように努めること。

#### 第11条（JSPPO公認ライフル射撃コーチ資格更新要件）

JRSF認定B級コーチ資格を保有していないJSPPO公認ライフル射撃コーチ資格保有者についても、JRSF認定コーチ資格保有者と同等のインテグリティ及び射撃指導力を担保するため、JSPPO公認ライフル射撃コーチ資格の更新要件について以下の通りとする。

- （1） 日ラ会員であること
- （2） 日ラ指導者育成部会が開催する認定コーチ向けインテグリティ講習会修了

#### 【附則】

1. 本制度の改廃は指導者育成部会において起案され理事会において行う。
2. 改訂後の本制度は、2021年5月30日より実施する。
3. 本制度は2021年9月25日改訂され同日施行する。（コーチ区分にD級を新設）
4. 本規程は、2022年2月26日改訂され、2022年4月1日より施行する。  
（制度要綱を規程に改めて制定、有効期間の制定）
5. 本規程は2022年6月18日改訂し同日施行する。（定款の協会英文表記変更に合わせてNRAJをJRSFに名称変更）
6. 本規程は2022年12月3日改訂し同日施行する。（コーチ資格取得に係る年齢及び競技歴・指導歴要件の引き下げ）
7. 本規程は2023年2月18日改訂し、同日施行する。（D級の年齢要件を18歳に引き下げ）